

第1回留学生センターFD報告

池田 英喜

ikedata@isc.niigata-u.ac.jp

1. 概 略

これは、去る2002年12月に行なわれた、第1回留学生センターFDに関する報告である。実際には、元国際交流課長である田保橋良氏と共同で行なったものであるが、資料はすべて池田が作成した。内容は、2002年10月28日～11月8日までの間池田・田保橋が全学協定校であるドイツマクデブルグ・オットーフォンゲーリック大学を訪問したときに収集した情報の報告にすぎないが、事務職員と教員が将来の大学改革のためにという同じ目的で協定校を訪問、情報収集を行い、それについての報告会を行なったことに意義があることを断っておきたい。言うまでもなく大学を運営していくにあたって、事務職員・教員のいずれを欠いてもうまくことは運ばない。しかしながら、実際の大学改革はこの両者が協力し合って実施されているようには見えない。もちろんそれぞれ立場が違うのは当然だが、どちらの立場に立つにせよ、改善を目指して改革するのであり、池田・田保橋が行なったような試みは、今はまだ稀なことではあるが、今後大学改革を進めていくうえでは必ず求められるべき方向といえよう。

ただ案内が急であったことなどにより、当日の参加者が、センター教員を含めてわずかに15名程度であったことが残念である。

2. パワーポイント資料

次ページ以降を参照。

FD: 協定校訪問報告

ドイツ・マゲデブルグ
オットーフォンゲーリック大学

国際交流課 : 田保橋 良
留学生センター : 池田 英喜

CHANCELLER(財務関係の長)

- 80% 州政府から大学に
運営費+研究費
- 20% 外部機関(私企業含む)から
研究者・グループに
研究費のみ

2

2003/3/18

FD 国際交流課・留学生センター

予算措置

- 年度単位の予算で、使い切らなければ次年度の予算はその分カットされる。
日本の国立大と同じ
- 来年度からシステムが一部変更になり、複数年度での予算計上が可能。また、余ったお金のプールができるようになった。
独法化には可能か?

3

2003/3/18

FD 国際交流課・留学生センター

FINANCIAL DEPARTMENT

- 州政府から来るお金の分配を担当
外部機関からの資金も
- 研究者の外部資金調達のための書類作成の補助
獲得資金は直接研究者に
Financial Departmentは一切関知せず

4

2003/3/18

FD 国際交流課・留学生センター

PERSONNEL OFFICE

- 事務スタッフ
5-600人
基本的には大学雇用
国内の交換研修はある
海外研修はほとんどない
過去10年で1回。
各セッションのトップは公務員
- 研究教育スタッフ
州政府から給料をもらう
教授135人
特別な公務員
講師16人、研究員480人
研究専従者270人
特定のプロジェクトに参加する研究者
給料はプロジェクト経費から
教育にはノータッチ。
プロジェクト終了時に解雇
- 学生数10,000人強
留学生約1,000人
全学生数の10%

5

2003/3/18

FD 国際交流課・留学生センター

DEPARTMENT FOR STUDY 1

(FOREIGN STUDENT ADMISSION)

- 事務職員2名+学生アルバイト2名
(学内募集で、大学自体の予算で配置)
- 3,000通/半期の願書を審査
- 出願時点でのドイツ語学習歴が問われる
要証明書
- 出願時点での経済状況は不問
入学決定時にドイツで生活していけるだけの経済力が問われる
なければビザは当然おりない。

6

2003/3/18

FD 国際交流課・留学生センター

DEPARTMENT FOR STUDY 2

(FOREIGN STUDENT ADMISSION)

- 入学定員があるところもあるが、ないところもある。
人文(Humanities)はない
Bachelor program of management や Master program of managementにはある
人気コースには不可欠
- 留学生のほとんどは学部生

7

2003/3/18

FD 国際交流課・留学生センター

DEPARTMENT FOR STUDY 3

(FOREIGN STUDENT ADMISSION)

- 同学部内であれば学科の変更可能
ただし同じバックグラウンドが必要
- 教養課程が2年
- 今のところ入学試験はない
導入の可能性はあり
器楽・声楽・美術コースは入試あり

8

2003/3/18

FD 国際交流課・留学生センター

教育特別プログラム

- コミュニケーショントレーニングコース
 - 経済学部にある。
 - マーケティングに必要なので設置
 - 全学的には展開せず

9

2003/3/18

FD-国際交流課・留学生センター

学生への財政支援

- 奨学金(学部生)
 - 初年度はなし
 - 初年度にいい成績を残さないと、申請不可
- 学内アルバイト
 - 個々の部局が一時的に募集するアシスタント職等
 - 研究プロジェクトから支払われるものもある
 - 科研費の謝金相当
 - 事務職
 - 数は少ない

10

2003/3/18

FD-国際交流課・留学生センター

PATENT INFORMATION CENTER

- 図書館内に設置
- 特許情報がすべて保管されている
- 手続きの代行
- 学内研究者申請分の権利
 - 特許権は大学
 - 発明者として個人名を記載

11

2003/3/18

FD-国際交流課・留学生センター

特許申請の流れ

- 研究者が元原稿を作成
- ↓
- センターが過去のデータをチェック
- ↓
- センターが申請
 - 大学が申請費用を負担(400ユーロ/1件)
 - 儲けの配分は、大学70%:研究者30%
 - ただし2002年申請分からは今のところ儲けはなし

12

2003/3/18

FD-国際交流課・留学生センター

図書館

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ■ 一般(工学、経済学、法学、自然科学、教養系) | ■ 医薬系 |
| 月曜-木曜
09:00-19:00 | 月曜
09:00-19:00 |
| 金曜
09:00-16:00 | 火曜-木曜
09:00-20:00 |
| 土曜
09:00-13:00 | 金曜
09:00-16:00 |
| ■ 社会学系 | ■ 管促 |
| 月曜
13:00-19:00 | 1回目:153ユーロ/冊 |
| 火曜-木曜
09:00-19:00 | 2回目:306ユーロ/冊 |
| 金曜
09:00-16:00 | 3回目:511ユーロ/冊 |

13

2003/3/18

FD-国際交流課・留学生センター

SPORTS CLUB

- 設備
 - 体育館
 - テニスコート
 - 全大校型6面
 - トレーニング施設
 - 体育館地下にウエイトマシン・ダンベル・ボール・エアロバイク
 - 温水プール
- コース
 - ケガ人のためのリハビリコース
 - エアロビクス
 - バレーボール
 - テニス
 - スキー
 - スイスアルプスへ
 - スキューバダイビング
 - 定員制のものは、先着順
- 利用
 - 学生と職員は申し込んで利用
 - 以前は一般開放もあったが、今はない
 - 学内利用が制限されるから

14

2003/3/18

FD-国際交流課・留学生センター